



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2020/10/23

研究課題名	在宅酸素療法患者に対する訪問看護の視点からの問題点と解決策の検討
研究の対象	呼吸器疾患により在宅酸素療法または在宅人工呼吸療法を受けている患者とその介護者
研究目的・方法	慢性呼吸不全患者への酸素療法（HOT）は、生命予後を改善するという研究結果から、本邦でも医療保険適用となり、現在約16万人が実施しています。HOTを使用している慢性呼吸不全患者のADLやQOLの維持には、日常生活のADLを改善させることと、生命リスクのある行動を避けることが重要であると報告されており、在宅における医療的視点に基づく継続看護と、介護の重要性が示されています。しかし、HOT患者の介護認定結果に関する調査報告は、ほとんどありません。HOT患者の現状は、介護保険利用時の要介護認定が低いこと、身体障害者認定の程度の認定も低く、必要なサービスを受給できていないことなどが想定されます。そこで、HOT患者に対する在宅療養の問題点と介護保険制度の利用実態を、アンケート調査を用いて明らかにし、その解決策を検討するために本研究を行います。研究はHOTや在宅人工呼吸療法を行う患者とその介護者に対するアンケートです。 研究期間：許可日～2021年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	質問票 等
外部への試料・情報の提供	本研究では質問票で得られた結果を研究組織に郵送します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究代表者： 滋慶医療科学大学院大学 医療安全学管理学研究科 教授 前倉 亮治 住所：〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目2番8号 電話：06-6150-1336（代表） F A X：06-6150-1337
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究担当者：滋慶医療科学大学院大学 医療安全学管理学研究科 修士課程 長濱あかし 住所：〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目2番8号 電話：06-6150-1336（代表） F A X：06-6150-1337 E-mail： i009@class.ghsj.ac.jp 研究責任者：公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 呼吸器内科 主任部長 福井基成 研究代表者：滋慶医療科学大学院大学 医療安全学管理学研究科 教授 前倉 亮治